

リュウキュウダエンチビドロムシの福井県新産報告

藤野勇馬*・渡部晃平**

New distributional records of *Pelochares ryukyuensis* Satô, 1966
(Coleoptera, Limnichidae) from Fukui Prefecture, Honshu, Japan
Yuuma FUJINO* and Kouhei WATANABE

(要旨) 福井県敦賀市中池見湿地からリュウキュウダエンチビドロムシを記録した。これは、福井県および北陸地方における初めての記録である。

キーワード：中池見湿地 チビドロムシ科 休耕田 水生昆虫 水生甲虫

2021年8月26日に第1著者の藤野が中池見湿地で植生調査を行っていたところ、休耕田で見慣れない微小甲虫を見つけた。その後、撮影した写真を何気なくSNSに投稿したところ、第2著者の渡部にチビドロムシ科の昆虫である可能性を指摘された。中池見湿地で動植物を採集するためには敦賀市の許可が必要なので、後日改めて生体採集の許可を申請し、2021年8月29日に生体を採集した。渡部が標本を同定した結果、リュウキュウダエンチビドロムシ *Pelochares ryukyuensis* Satô, 1966と同定された。

本種は、これまで本州（群馬県、栃木県、茨城県、千葉県、東京都、岡山県、広島県、島根県、山口県）、四国（愛媛）、九州（福岡、大分、宮崎）、南西諸島（種子島、宝島、奄美大島、沖縄島、西表島、与那国島）、台湾から記録されており（Satô, 1966；松井, 1988；Yoshitomi, 2007；伊藤・前原, 2017；渡部・山本, 2018；秋山, 2018；山地, 2018；橋爪, 2019；中村, 2019；中村ら, 2020；大川, 2020）、本記録は福井県初記録となる。

中池見湿地, 3♀, 29- VIII-2021, 藤野勇馬採集・渡部晃平同定・福井市自然史博物館保管 (FCMNH-3999) (図1)

今回、リュウキュウダエンチビドロムシが見つかったのは、中池見湿地の中で下流側に位置する後谷と呼ばれる地域のほぼ中央にある通称「お地藏さんの田んぼ」と呼ばれる休耕田である。この場所はモートンイトトンボ、ヘイケボタル、モリアオガエル、ミズトラノオ、アブノメなど希少な生物が多く確認されている重要な地点だが、近年は南側に位置する深山 (163m)



図1. 福井県産リュウキュウダエンチビドロムシ
Pelochares ryukyuensis Satô, 1966
(中池見湿地, 3♀, 29- VIII-2021, 藤野勇馬採集・福井市自然史博物館所蔵: FCMNH-xxxx)

からの沢水の流入量が顕著に減少しており、乾燥化が心配されている。

本種を採集した休耕田は凹地に水が溜まっているほかは土壌表面のほとんどが露出した状態で、一部には植生が密集しており、特にミズトラノオ、ヤナギタデ、アゼトウガラシ、ホシクサ科sp.などが優占的に生育

*NPO法人中池見ねっと 〒914-0005 敦賀市樫曲7-25

*Nakaikemi-Net. 7-25, Kashimagari, Tsuruga city, Fukui 914-0005, Japan

**石川県ふれあい昆虫館 〒920-2113 石川県白山市八幡町戊3

**Ishikawa Insect Museum. 3, Inu, Yahata-machi, Hakusan City, Ishikawa 920-2113, Japan

していたほか、チビゲンゴロウ、ケシミズカメムシ、ホソメダカナガカメムシ、ヒラマキミズマイマイ、アカハライモリ、トノサマガエル、ドジョウなどが見られた。

中池見湿地ではこれまで複数回にわたって総合的な調査がなされている（野原・河野，2003；鉄道建設・運輸施設整備支援機構鉄道建設本部，2015）が、カトリヤンマ、ワクトツキジグモ、シナノセスジエンマムシなど、いまだ毎年のように新産報告が相次いでいる（和田，2015；野一色，2015；浅利，2016）。

今回の報告はリュウキュウダエンチビドロムシの初記録だけではなく、いまだその全容が明らかになっていない中池見湿地の生物多様性の豊かさの一端を示すものでもある。

本報告をまとめるにあたり、比和自然科学博物館の千田喜博氏には文献の収集にご協力いただいた。また、敦賀市環境廃棄物対策課には中池見湿地での生物の採集を許可していただいた。ここに御礼申し上げる。

引用文献

- 秋山美文，2018，比和自然科学博物館所蔵のチビドロムシの再検討。比婆科学，(264)，34-35。
- 浅利裕太，2016，中池見湿地におけるシナノセスジエンマムシ *Onthophilus silvae* と文殊山におけるケンランアリスアブ *Microdon katurai* の採集記録。福井市自然史博物館研究報告，(63)，91-92。
- 橋爪拓斗，2019，九州におけるリュウキュウダエンチビドロムシの記録。さやばねニューシリーズ，(35)，39。
- 伊藤 淳・前原和雄，2017，本州のリュウキュウダエンチビドロムシとチビドロムシ。さやばねニューシリーズ，(28)，36-37。
- 松井英司，1988，1987年水生昆虫採集記（種子島）。SATSUMA，37 (99)，1-10。
- 中村 涼，2019，千葉県のリュウキュウダエンチビドロムシとチビドロムシ。さやばねニューシリーズ，(35)，38-39。
- 中村 涼・茶珍 護・神澤由己，2020，群馬県と茨城県におけるリュウキュウダエンチビドロムシの記録。さやばねニューシリーズ，(40)，61。
- 野原精一・河野昭一，2003，福井県敦賀市中池見湿地総合学術調査報告。国立環境研究所報告，(176)，国立環境研究所。
- 野一色麻人，2015，敦賀市中池見湿地におけるワクトツキジグモの記録。福井市自然史博物館研究報告，(62) 77-78。
- 大川秀雄，2020，足利市産昆虫類分布資料(XI)。インセクト，71 (1)，7-12。
- Satō, M., 1966, The Limnichid-beetles of Japan. Transaction of the Shikoku Entomological Society, 9 (2), 55-62.
- 鉄道建設・運輸施設整備支援機構鉄道建設本部，2015，北陸新幹線，中池見湿地付近環境事後調査最終報告 第Ⅱ部 自然環境調査。
- 和田茂樹，2015，福井県敦賀市中池見湿地～放棄水田群におけるトンボ相の変遷～。日本トンボ学会編。失われゆく日本のトンボ生息地，p28-31。
- 渡部晃平・山本栄治，2018，四国におけるリュウキュウダエンチビドロムシの初記録。さやばねニューシリーズ，(29)，p45。
- 山地 治，2018，リュウキュウダエンチビドロムシの記録。すずむし，(153)，p10。
- Yoshitomi, H., 2007, A new record of *Pelochares ryukyuensis* (Coleoptera, Limnichidae) from the Island of Yonaguni-jima. Elytra, Tokyo, 35 (2), p528.